

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社JFLAホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3069 URL https://j-fla.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)檜垣 周作  
 問合せ先責任者 (役職名)広報・IR・CSR室長 (氏名)馬場 康尚 (TEL)03-6311-8892  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	80,871	25.7	515	91.0	217	—	1,689	—
2019年3月期	64,335	49.6	270	△75.0	△967	—	△2,931	—
(注) 包括利益	2020年3月期 1,618百万円 (—%)		2019年3月期 △3,405百万円 (—%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	40.30	—	15.4	0.4	0.6
2019年3月期	△76.67	—	△31.2	△2.1	0.4
(参考) 持分法投資損益	2020年3月期 △24百万円		2019年3月期 △478百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	57,843	12,276	20.5	283.24
2019年3月期	57,787	10,636	17.5	241.74
(参考) 自己資本	2020年3月期 11,869百万円		2019年3月期 10,132百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,405	1,120	△2,147	7,882
2019年3月期	1,689	△489	720	7,573

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	167	—	1.5
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	167		1.5
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	41,929,936株	2019年3月期	41,929,936株
② 期末自己株式数	2020年3月期	24,211株	2019年3月期	14,813株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	41,911,120株	2019年3月期	38,234,648株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	4,051	△3.1	203	△35.3	△741	—	△2,448	—
2019年3月期	4,180	△6.7	313	3.7	71	17.1	△844	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△58.42	—
2019年3月期	△22.10	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	22,928		8,860		38.6		211.38	
2019年3月期	23,807		11,359		47.7		270.85	

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,857百万円 2019年3月期 11,352百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。詳細につきましては、添付資料3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、年度途中までは堅調な企業業績や雇用環境を背景に景気は底堅く推移してまいりました。しかし、米中による通商問題や当年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、極めて不確実な状況が続いております。外食及び食品生産業界においては、消費税率引き上げや新型コロナウイルス感染拡大が与える影響から消費者心理の冷え込みが強まる中、原材料価格の上昇や物流コスト及び人件費の高騰など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下で、当社グループは「食のバリューチェーンのグローバルリーディングカンパニー」を目指し、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化」の各課題へ積極的に取り組み、販売・流通・生産の3機能が相互に価値を發揮する事業ポートフォリオの構築に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は、前期子会社化したジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社（以下「JFLA」と言います。）が通期貢献したことや乳業各社の増収が主要因となり、80,871百万円（前年同期比25.7%増）となりました。営業利益は、販売事業及び流通事業において新型コロナウイルス感染拡大に伴い減益となった一方で、乳業を中心とした生産事業において製品の価格改定による利益率の上昇及び余剰乳の受託加工事業が堅調に推移したことや、JFLAの通期貢献並びに海外事業において不採算事業の整理を進めたことなどが主要因となり、515百万円（前年同期比91.0%増）となりました。経常利益は、前期と比較して持分法投資損失454百万円や貸倒引当金265百万円が無くなった一方で、今期は貸倒引当金繰入益173百万円を計上したことなどにより、217百万円（前年同期は経常損失967百万円）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、焼肉業態牛角の事業譲渡益等5,596百万円及び負ののれん発生益302百万円を計上した一方で、新型コロナウイルスの影響により今後の事業計画を保守的に見積もったため減損損失3,225百万円の計上したことや投資有価証券評価損583百万円を計上したことなどにより、1,689百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2,931百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 販売

当連結会計年度末の店舗数は830店舗（前年同期比18店舗の減少）となりました。内訳は、直営店210店舗（前年同期比15店舗の減少）、フランチャイズ店620店舗（前年同期比3店舗の減少）となります。国内事業における第3四半期までの業績は、全体としては前年並に推移してまいりましたが、第4四半期においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や営業自粛の影響により、通期では減収減益となりました。なお、2020年3月の既存店売上高（直営店とフランチャイズ店合計）は、前年比75.9%となっております（参考：日本フードサービス協会発表の3月度外食産業市場動向調査（パブレストラン／居酒屋）前年比56.7%）。一方で、海外事業においては、不採算事業の整理を進めたこともあり、当連結会計年度における売上高は23,686百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は186百万円（前年同期比63.6%減）となりました。

#### ② 流通

株式会社アルカンは、業務用食材のフランス産フォアグラ・家禽類、冷凍パン「ブリドール」及びシャンパーニュ「ボランジェ」の売上増とユーロ安及び関税軽減による利益率の上昇が主要因により増収増益となりました。一方で、英国子会社は、新型コロナウイルス感染拡大や英国のEU離脱問題の影響などにより減収減益となりました。また、業務用総合食品商社の東洋商事株式会社、中華食材等卸売のアンキッキ協栄株式会社などJFLAの子会社が増収増益となったことにより、当連結会計年度における売上高は22,180百万円（前年同期比83.2%増）、営業損失は34百万円（前年同期は営業損失27百万円）となりました。

#### ③ 生産

九州乳業株式会社及び茨城乳業においては、価格改定が寄与したことや、主要な問屋・量販店・ドラッグストア向け牛乳類、ヨーグルト、豆乳などの販売が引き続き好調であったため、増収増益となりました。株式会社弘乳舎は、余剰乳をバターや脱脂粉乳といった製品に加工する受託加工事業が好調であったため、増収増益となりました。また、JFLAの子会社である食品類酒類メーカーの盛田株式会社などの通期貢献により、当連結会計年度における売上高は34,854百万円（前年同期比30.0%増）、営業利益は806百万円（前年同期比78.5%増）となりました。

## ④ その他

その他事業の内容といたしましては、店舗開発事業や介護施設運営事業等による売上があり、当連結会計年度における売上高は149百万円（前年同期比367.6%増）、営業利益は27百万円（前年同期比55.8%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は57,843百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加いたしました。これは主に、流動資産が2,952百万円の増加に対して、有形固定資産が608百万円、のれんが2,489百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、45,567百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,583百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金及び長期借入金が1,007百万円、支払手形及び買掛金が670百万円、減少したことによるものであります。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ1,639百万円増加し、12,276百万円となっております。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ309百万円増加し7,882百万円となりました。当連結会計年度末の各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりとなりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,405百万円となりました。これは主に、事業譲渡益5,596百万円、減損損失3,255百万円、減価償却費及びその他の償却1,429百万円、売上債権の増加1,269百万円、仕入債務の減少814百万円などによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、1,120百万円となりました。これは、主に事業譲渡による収入2,893百万円や貸付けによる支出1,288百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出885百万円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2,147百万円となりました。これは、主に長期借入による収入2,794百万円と長期借入金の返済による支出5,809百万円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症終息の兆しが未だ見えない中、先行きは非常に不透明感の強い状況にあります。

販売事業では、緊急事態宣言発令を受け、直営店舗の約70%で臨時休業や営業時間短縮の措置を実施しております。また、流通事業では、株式会社アルカンの主要顧客であるホテル、レストラン、結婚式場、業務店などが営業自粛や制限を余儀なくされております。さらに、海外事業では、英国で展開するレストランや食品スーパーが3月23日から続くロックダウン措置の影響など、現時点において平時の状況まで回復する見通しの予測が困難な状況が続いております。

従いまして、次期通期業績予想を未定とし、今後、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、開示が可能となった時点で速やかに公表をいたします。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして認識しており、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、経営上可能な限り最大の範囲で配当を行うことを基本方針としております。当期の配当につきましては、今後の事業展開及び成長性等を総合的に勘案した上で、安定配当の観点から一株あたり4円を予定しております。次期の配当予想につきましては、現時点で業績予想を合理的に算定することが困難なことから未定とし、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,684,745	8,017,711
受取手形及び売掛金	10,251,201	12,264,791
商品及び製品	4,138,656	4,587,108
仕掛品	2,300,411	2,256,253
原材料及び貯蔵品	1,134,659	1,061,648
短期貸付金	404,203	416,009
その他	1,478,582	1,512,606
貸倒引当金	△259,224	△30,593
流動資産合計	27,133,235	30,085,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,395,373	15,125,689
減価償却累計額	△9,977,725	△10,552,416
建物及び構築物(純額)	5,417,648	4,573,272
機械装置及び運搬具	17,895,894	17,776,301
減価償却累計額	△15,491,795	△15,566,874
機械装置及び運搬具(純額)	2,404,099	2,209,426
土地	9,460,438	10,035,149
リース資産	1,080,374	1,127,691
減価償却累計額	△338,191	△394,313
リース資産(純額)	742,182	733,378
建設仮勘定	108,115	102,288
その他	2,244,369	2,185,369
減価償却累計額	△1,766,497	△1,836,979
その他(純額)	477,872	348,389
有形固定資産合計	18,610,356	18,001,905
無形固定資産		
のれん	5,946,358	3,457,258
その他	245,779	239,872
無形固定資産合計	6,192,138	3,697,130
投資その他の資産		
投資有価証券	2,141,757	2,070,690
長期貸付金	1,020,778	1,637,475
繰延税金資産	271,726	64,271
退職給付に係る資産	650,994	442,881
その他	3,384,214	2,804,922
貸倒引当金	△1,629,338	△973,877
投資その他の資産合計	5,840,134	6,046,364
固定資産合計	30,642,629	27,745,400
繰延資産		
社債発行費	11,664	12,900
繰延資産合計	11,664	12,900
資産合計	57,787,528	57,843,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,924,068	6,253,259
短期借入金	13,759,848	14,630,554
1年内償還予定の社債	—	96,000
1年内返済予定の長期借入金	4,638,159	4,073,898
リース債務	178,303	193,082
未払法人税等	191,350	374,341
賞与引当金	76,500	118,203
店舗閉鎖損失引当金	6,830	271,395
その他	4,961,125	4,649,775
流動負債合計	30,736,187	30,660,509
固定負債		
社債	800,000	1,004,000
長期借入金	10,430,001	9,116,520
リース債務	621,956	811,679
繰延税金負債	1,113,093	1,029,778
債務保証損失引当金	65,570	64,476
退職給付に係る負債	902,236	814,874
資産除去債務	1,106,632	1,050,571
その他	1,374,878	1,014,636
固定負債合計	16,414,369	14,906,537
負債合計	47,150,556	45,567,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,910,363	2,910,363
資本剰余金	8,222,242	8,221,546
利益剰余金	△389,954	1,332,238
自己株式	△6,777	△10,549
株主資本合計	10,735,873	12,453,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△228,529	△53,016
為替換算調整勘定	△318,214	△300,987
退職給付に係る調整累計額	△56,562	△230,129
その他の包括利益累計額合計	△603,305	△584,133
新株予約権	6,680	2,840
非支配株主持分	497,724	404,483
純資産合計	10,636,972	12,276,789
負債純資産合計	57,787,528	57,843,836



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	64,335,882	80,871,361
売上原価	43,593,152	56,622,911
売上総利益	20,742,730	24,248,450
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△8,613	△5,357
給料及び賞与	7,420,458	8,299,077
賞与引当金繰入額	27,960	93,263
退職給付費用	45,674	69,025
支払手数料	2,081,116	2,470,073
のれん償却額	767,726	769,304
その他	10,138,366	12,037,265
販売費及び一般管理費合計	20,472,690	23,732,652
営業利益	270,040	515,798
営業外収益		
受取利息	20,635	44,358
受取配当金	1,174	7,403
貸倒引当金戻入額	19,483	173,422
その他	124,591	181,968
営業外収益合計	165,884	407,153
営業外費用		
支払利息	309,710	437,220
持分法による投資損失	478,973	24,663
貸倒引当金繰入額	265,514	—
支払手数料	129,475	112,354
その他	220,219	131,156
営業外費用合計	1,403,894	705,394
経常利益又は経常損失(△)	△967,969	217,556

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	32,262	1,952
受取立退料	78,000	—
負ののれん発生益	—	302,012
段階取得に係る差益	160,086	—
事業譲渡益	—	5,596,153
その他	328,885	783,522
特別利益合計	599,235	6,683,641
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	766	3,320
固定資産除却損	29,163	26,170
減損損失	1,723,606	3,255,022
投資有価証券評価損	469,930	583,943
その他	297,727	903,565
特別損失合計	2,521,195	4,772,023
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,889,929	2,129,175
法人税、住民税及び事業税	156,774	422,463
法人税等調整額	△48,806	113,825
法人税等合計	107,967	536,288
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,997,896	1,592,886
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△66,426	△96,260
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△2,931,470	1,689,146

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,997,896	1,592,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△225,947	174,640
為替換算調整勘定	△127,471	21,002
退職給付に係る調整額	△56,562	△173,567
持分法適用会社に対する持分相当額	1,972	3,212
その他の包括利益合計	△408,008	25,288
包括利益	△3,405,905	1,618,174
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△3,336,503	1,708,314
非支配株主に係る包括利益	△69,402	△90,139

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,910,363	3,378,740	2,581,759	△1,428	8,869,435
当期変動額					
新株の発行		4,843,577			4,843,577
剰余金の配当			△123,577		△123,577
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△2,931,470		△2,931,470
自己株式の取得				△6,481	△6,481
自己株式の処分		△158		1,132	973
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
連結範囲の変動					—
持分法の適用範囲の変動			83,332		83,332
合併による増加		82			82
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	4,843,501	△2,971,714	△5,349	1,866,437
当期末残高	2,910,363	8,222,242	△389,954	△6,777	10,735,873

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△1,541	20	△190,069	△3,707	△195,297	6,680	544,641	9,225,459
当期変動額								
新株の発行					—			4,843,577
剰余金の配当					—			△123,577
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					—			△2,931,470
自己株式の取得					—			△6,481
自己株式の処分					—			973
連結子会社株式の取得による持分の増減					—			—
連結範囲の変動					—			—
持分法の適用範囲の変動					—			83,332
合併による増加					—			82
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△226,988	△20	△128,144	△52,854	△408,008		△46,916	△454,924
当期変動額合計	△226,988	△20	△128,144	△52,854	△408,008	—	△46,916	1,411,513
当期末残高	△228,529	—	△318,214	△56,562	△603,305	6,680	497,724	10,636,972

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,910,363	8,222,242	△389,954	△6,777	10,735,873
当期変動額					
新株の発行					—

剰余金の配当			△167,660		△167,660
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			1,689,146		1,689,146
自己株式の取得				△3,924	△3,924
自己株式の処分		△15		152	136
連結子会社株式の取得による持分の増減		△680			△680
連結範囲の変動			119,942		119,942
持分法の適用範囲の変動			80,764		80,764
合併による増加					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△695	1,722,193	△3,772	1,717,725
当期末残高	2,910,363	8,221,546	1,332,238	△10,549	12,453,599

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△228,529	—	△318,214	△56,562	△603,305	6,680	497,724	10,636,972
当期変動額								
新株の発行					—			—
剰余金の配当					—			△167,660
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					—			1,689,146
自己株式の取得					—			△3,924
自己株式の処分					—			136
連結子会社株式の取得による持分の増減					—			△680
連結範囲の変動					—			119,942
持分法の適用範囲の変動					—			80,764
合併による増加					—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	175,513		17,226	△173,567	19,172	△3,840	△93,240	△77,908
当期変動額合計	175,513	—	17,226	△173,567	19,172	△3,840	△93,240	1,639,816
当期末残高	△53,016	—	△300,987	△230,129	△584,133	2,840	404,483	12,276,789

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,889,929	2,129,175
減価償却費及びその他の償却費	1,269,607	1,429,173
減損損失	1,723,606	3,255,022
のれん償却額	767,726	769,304
負ののれん発生益	—	△302,012
貸倒引当金の増減額(△は減少)	98,483	△166,987
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,444	34,202
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△54,576	267,428
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△594	△1,094
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△61,304	△79,840
受取利息及び受取配当金	△21,809	△51,762
支払利息	309,710	437,220
固定資産売却損益(△は益)	△31,496	1,368
固定資産除却損	29,163	26,170
受取保険金	△146,228	△138,128
補助金収入	△53,770	△19,897
事業譲渡損益(△は益)	—	△5,596,153
関係会社株式売却損益(△は益)	△54,974	△479,630
投資有価証券評価損益(△は益)	469,930	583,943
持分法による投資損益(△は益)	478,973	24,663
段階取得に係る差損益(△は益)	△160,086	—
売上債権の増減額(△は増加)	213,937	1,269,574
たな卸資産の増減額(△は増加)	57,382	△269,633
仕入債務の増減額(△は減少)	△365,216	△814,634
未払金の増減額(△は減少)	6,461	△266,161
未払費用の増減額(△は減少)	45,300	△611,450
未払消費税等の増減額(△は減少)	88,664	541,976
前受金の増減額(△は減少)	△49,438	73,104
その他	287,209	△121,311
小計	1,966,179	1,923,630
利息及び配当金の受取額	21,697	59,675
利息の支払額	△304,740	△500,421
法人税等の支払額	△193,723	△234,979
保険金の受取額	146,228	138,128
補助金の受取額	53,770	19,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,689,411	1,405,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,708	△79,458
定期預金の払戻による収入	3,428	55,803
有形固定資産の取得による支出	△1,412,474	△874,056
有形固定資産の売却による収入	67,862	22,721
無形固定資産の取得による支出	△311,471	△11,626
投資有価証券の取得による支出	△602,374	△52,572
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	59,016	82,900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△949	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,099,561	82,622
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△69,887
関係会社株式の取得による支出	△409,844	—
関係会社株式の売却による収入	102,530	—
営業譲受による支出	△460,000	—
事業譲渡による収入	—	2,893,150
出資金の回収による収入	500	—
貸付けによる支出	△921,595	△1,288,854
貸付金の回収による収入	185,783	266,804
敷金及び保証金の差入による支出	△162,304	△58,118
敷金及び保証金の回収による収入	215,607	352,337
長期前払費用の取得による支出	△18,162	△166,066
その他	78,800	△35,315
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△489,794</b>	<b>1,120,383</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△95,839	1,064,338
長期借入れによる収入	7,278,763	2,794,911
長期借入金の返済による支出	△6,935,182	△5,809,774
社債の発行による収入	788,335	294,875
割賦債務の返済による支出	△80,298	△107,924
リース債務の返済による支出	△106,651	△215,257
自己株式の処分による収入	973	152
自己株式の取得による支出	△6,481	△3,924
配当金の支払額	△122,900	△164,683
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>720,717</b>	<b>△2,147,287</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△44,796</b>	<b>△69,402</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,875,538	309,311
現金及び現金同等物の期首残高	5,698,034	7,573,573
現金及び現金同等物の期末残高	7,573,573	7,882,884

(5) 連結財務諸表に関する注記事項



(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「食のバリューチェーン」を構築するという方針に沿って、市場へのきめ細やかな対応を主眼に置き、同種業務を統合化し顧客対応力の強化と顧客拡大を図ることを目的とした事業活動を展開しております。

従って、当社の報告セグメントは、対応する市場やビジネスの類似性の観点から構成されており、「販売事業」、「流通事業」及び「生産事業」の3つを報告セグメントとしております。

「販売事業」は、商品・サービスの販売に係る分野、「流通事業」は、商品の卸売りや物流に係る分野、「生産事業」は、商品生産分野としております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	販売	流通	生産	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	25,396,408	12,105,516	26,801,829	64,303,754	32,128	64,335,882
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94,469	1,223,124	42,169	1,359,763	—	1,359,763
計	25,490,878	13,328,641	26,843,998	65,663,517	32,128	65,695,646
セグメント利益	509,718	144,722	648,963	1,303,404	17,566	1,320,971
セグメント資産	13,376,291	9,718,473	30,321,819	53,416,584	25,984,629	79,401,214
その他の項目						
減価償却費	579,151	61,912	585,462	1,226,526	11,061	1,237,588
のれんの償却額	359,578	166,020	242,127	767,726	—	767,726
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,107,629	76,380	794,381	1,978,391	28,322	2,006,713

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、店舗開発事業等の売上であります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	販売	流通	生産	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	23,686,765	22,180,155	34,854,221	80,721,142	150,219	80,871,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	227,952	2,272,072	123,890	2,623,916	—	2,623,916
計	23,914,717	24,452,228	34,978,112	83,345,058	150,219	83,495,277
セグメント利益又は損失 (△)	186,536	△34,513	806,851	958,873	27,367	986,241
セグメント資産	17,314,368	12,471,112	30,499,125	60,284,606	147,934	60,432,540
その他の項目						
減価償却費	499,571	141,305	757,025	1,397,903	25,335	1,423,238
のれんの償却額	252,117	204,946	309,947	767,011	2,292	769,304
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	434,108	196,744	1,017,786	1,648,639	15,605	1,664,244

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、店舗開発事業等の売上であります。

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	65,663,517	83,345,058
「その他」の区分の売上高	32,128	150,219
セグメント間取引消去	△ 1,359,763	△ 2,623,916
連結財務諸表の売上高	64,335,882	80,871,361

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,303,404	958,873
「その他」の区分の利益	17,566	27,367
全社費用(注)	△ 1,050,931	△ 470,443
連結財務諸表の営業利益	270,040	515,798

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	53,416,584	60,284,606
「その他」の区分の資産	25,984,629	147,934
全社資産(注)	△ 21,613,685	△ 2,588,704
連結財務諸表の資産合計	57,787,528	57,843,836

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現預金)、長期投資資金及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	1,226,526	1,397,903	11,061	25,335	—	—	1,237,588	1,423,238

のれんの償却額	767,726	767,011	—	2,292	—	—	767,726	769,304
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,978,391	1,648,639	28,322	15,605	—	—	2,006,713	1,664,244

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に日本における独占ストアライセンス権を取得したブランドの店舗設備等及び本社移転に係る造作等の投資額であります。

## (1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎、1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	241円74銭	283円24銭
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	10,636,972	12,276,789
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	504,404	407,323
(うち新株予約権)	(6,680)	(2,840)
(うち非支配株主持分)	(497,724)	(404,483)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,132,567	11,869,465
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	41,915,123	41,905,725

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△76円67銭	40円30銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△2,931,470	1,689,146
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△2,931,470	1,689,146
普通株式の期中平均株式数(株)	38,234,648	41,911,120
(3) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
(うち支払利息(税額相当額控除後))	(—)	(—)
普通株式増加数(株)	—	—
(うち転換社債型新株予約権付社債)	(—)	(—)
(うち新株予約権)	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第7回新株予約権 第8回新株予約権 なお、概要は「第4提出会社の状況、1株式等の状況、(2)新株予約権等の状況」に記載のとおりであります。	第7回新株予約権 第8回新株予約権 なお、概要は「第4提出会社の状況、1株式等の状況、(2)新株予約権等の状況」に記載のとおりであります。

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり

当期純損失であるため記載しておりません。

2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。